

事業体（団体）名	札幌市水道局
----------	--------

事業名称	JICA課題別研修「上水道施設技術総合：水道実務者向け実践編（B）」
実施期間	2018年6月5日～8月10日
主催機関	JICA北海道、札幌市水道局、仙台市水道局、札幌市水道サービス協会（ほか）
事業概要・目的	<p>水道事業に関する直面している課題の解決に向けて、水道施設や水道事業の運営に指導的役割を果たす技術者を養成することを目的とした受入研修事業。</p> <p>開発途上国の中堅水道技術者を対象とし、約2か月にわたり水道技術全般に関する講義、視察、実習など、実務に関わる研修を実施。平成30年度末までで26回の受入実績があり、平成24年度まで実施していた「寒冷地上水道技術コース」18回の受入も含め、310名の研修員を受け入れている。</p> <p>主な研修プログラムは以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水道計画概論（講義）</li> <li>・取水・導送配水施設（講義、視察、実習）</li> <li>・ジャーテスト（実習）</li> <li>・配水管（講義、視察、接合実習）</li> <li>・漏水防止対策（講義、実習）</li> <li>・水道資機材製造工場（講義、視察）</li> <li>・管網解析（実習）</li> <li>・水需要予測（講義、実習）</li> <li>・アクションプラン作成指導 他</li> </ul>
対象（相手）国・機関名	モロッコ、ネパール、ナイジェリア、スリランカ、スーダン

写真



事業体（団体）名	<b>札幌市水道局</b>
----------	---------------

事業名称	ウランバートル市送配水機能改善支援協力事業（JICA草の根技術協力事業「地域活性化特別枠」）
実施期間	2016年2月1日～2018年12月31日
主催機関	JICA北海道、札幌市水道局、札幌市水道サービス協会 ほか
事業概要・目的	<p>【概要・目的】</p> <p>モンゴル国の首都ウランバートル市において、送配水システムを改善する計画を策定する際に必要となるノウハウに関する技術移転などを通じて、水道技術者の育成を行うことを目指し、事業期間中に5回の札幌受入研修、9回のモンゴル派遣研修を実施している。</p> <p>【活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本市水道局職員の派遣による現地指導（3回/年程度）</li> <li>・モンゴル水道技術者の本邦受入研修（2回/年程度）</li> <li>・水量・水圧の測定など技術協力に係る資機材供与</li> </ul> <p>平成30年度は事業最終年度であり、ウランバートル市で実施した成果報告会では、関係機関役職者や技術者の他に地域住民に向けて、本事業で作成したモデル地区における送配水機能改善計画の概要を発表し、計画実現の必要性について理解してもらった。</p> <p>事業を通じて、ウランバートル市の水道技術者は水需要量の増加に合わせて配水池やポンプ施設、配水管網の拡張や更新など、送配水システムの改善計画を策定するノウハウを習得することができた。</p>
対象（相手）国・機関名	モンゴル（ウランバートル市、ウランバートル市上下水道公社、ウランバートル市住宅公共事業公社）

写真



事業体（団体）名	<b>東京都水道局</b>
----------	---------------

事業名称	JICA技術協カプロジェクト（ヤンゴン市開発委員会水道事業運営改善プロジェクト）
実施期間	2015年～2020年
主催機関	JICA、東京都水道局、福岡市水道局、東京水道サービス(株)、(株)PUC等
事業概要・目的	ヤンゴンでは、円借款を活用した水道施設整備が進められているが、持続的な給水サービスを確保するためには、施設整備と並行して、ヤンゴン市開発委員会の組織能力強化も必要であるため、JICAが円借款事業に付した技術協カプロジェクトを実施。東京都水道局は、福岡市水道局と共同で現地セミナーや訪日研修を実施。
対象（相手）国・機関名	ミャンマー ヤンゴン市開発委員会

写真



事業体（団体）名	<b>東京都水道局</b>
----------	---------------

事業名称	JICA草の根技術協力事業 (ハノイにおける無収水削減技術研修・能力向上プロジェクト)
実施期間	2016年2月～2019年1月
主催機関	JICA、東京都水道局、東京水道サービス（株）
事業概要・目的	ベトナム・ハノイにおいて、無収水削減のための人材及び技術が不足していることから、ハノイ水道公社職員の無収水削減に関する能力向上に向けて、現地や日本における技術指導や日本製の資器材の供与を通じた技術協力を実施。
対象（相手）国・機関名	ベトナム ハノイ水道公社

写真



事業体（団体）名	<b>東京都水道局</b>
事業名称	ヤンゴンにおける無収水対策事業
実施期間	2016年～2022年(予定)
主催機関	東京都水道局、東京水道サービス（株）等
事業概要・目的	2014年度にヤンゴンで実施した無収水対策パイロット事業の成果を踏まえ、ヤンゴンの一部地域においてエリアを拡大し、ODA(事業費：18億円)を活用したインフラ整備事業を実施。また、インフラ整備が完了した地区から、別途ヤンゴン市資金による維持管理事業を順次実施予定。
対象（相手）国・機関名	ミャンマー ヤンゴン市開発委員会
<p>写真</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	

事業体（団体）名	<b>東京都水道局</b>
----------	---------------

事業名称	JICA草の根技術協力事業 (SCADAを活用した水運用・NRWマネージメント能力向上プロジェクト)
実施期間	2017年8月～2020年3月
主催機関	JICA、東京都水道局、東京水道サービス（株）等
事業概要・目的	<p>高い無収水率が課題となっているマレーシア・ラブアン島において、SCADAを活用した水運用・無収水マネージメント削減に関するラブアン水道職員の能力向上に向けて、技術指導や機材供与を通じた技術協力を実施するもの。</p> <p>2018年度：訪日研修（2018年9月26日～10月4日）</p>
対象（相手）国・機関名	マレーシア エネルギー・環境技術・水省

写真



事業体（団体）名	<b>東京都水道局</b>
----------	---------------

事業名称	アジア水道事業体人材育成ネットワーク（A1-HRD）
実施期間	2018年9月18日（火）～20日（木）
主催機関	東京都水道局：主催国はメンバー間の持回り
事業概要・目的	<p>アジア諸都市の水道事業体がメンバーとなり、人材育成や研修手法などに関する情報交換を通じて、アジア全体の水道事業のレベルアップに寄与しようとする取組み。</p> <p>主な活動内容：年1回の会議：人材育成をテーマとした発表・質疑応答及び意見交換、その他自由討議、視察の実施。 ホームページ、ニュースレターによる人材育成の情報交換。</p> <p>2018年度は、東京にて第11回会議を開催した。</p>
対象（相手）国・機関名	<p>大韓民国：ソウル特別市上水道事業本部、韓国水資源公社（K-water）</p> <p>台湾：台湾自來水公司（TWC）</p> <p>タイ：バンコク首都圏水道公社（MWA）</p> <p>日本：東京都水道局</p>

写真



事業体（団体）名	横浜市水道局
----------	--------

事業名称	ベトナム国フ工省水道公社との二者覚書事業
実施期間	2017年7月～2019年12月
主催機関	横浜市水道局（独自事業）
事業概要・目的	<p>15年にわたり協力関係を築いてきたフ工省水道公社と、2017年7月に新たに2者間の覚書を締結しました。この覚書に基づき、浄水場の改善や研修コースの整備等の技術協力を進めるとともに、同公社の協力を得て、横浜水ビジネス協議会（※）会員企業のベトナム国におけるビジネス展開を支援しています。</p> <p>※ 上下水道の海外水ビジネス展開の推進を目的に、平成23年に設立された市内企業等による会員組織。平成31年3月末時点で171社が登録。</p> <p>1. 実施形態</p> <p>(1) 職員派遣（現地での調査・打合せ・技術指導・ワークショップ開催など）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2018年に職員派遣を行い、給配水、浄水・水質、設備の3分野で技術協力を実施</li> </ul> <p>(2) 本邦受入（研修・視察・協議）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2018年3月に、副社長以下2名のフ工省水道公社幹部が来日</li> <li>覚書に基づく今後の協力事業について協議し、活動計画を策定しました。</li> <li>また、管路研修施設の見学、人材育成に関する研修を実施しました。</li> <li>・2018年9月に、給配水、浄水・水質の2分野で計研修員4名を受け入れ、研修を実施</li> </ul> <p>(3) ビジネス支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2017年7月6日に、横浜水ビジネス協議会会員企業6社が参加した「水ビジネス推進セミナー」を横浜市水道局、横浜水ビジネス協議会、フ工省水道公社の共催によりフ工市で開催しました。会員企業によるプレゼンテーション、展示会を実施し、ベトナムの水道事業者等から58団体165人が参加しました。</li> <li>・幹部や研修員の来日時に、横浜水ビジネス協議会会員企業とのビジネスマッチングを実施。また2018年9月のIWA東京展示会にて、研修員が横浜水ビジネス協議会各会員企業のブースを訪問しました。</li> </ul> <p>2. 事業分野</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・配水管網構築</li> <li>・無収水対策</li> <li>・浄水方法改善</li> <li>・SCADAシステム</li> <li>・データ管理</li> </ul>
対象（相手）国・機関名	ベトナム国フ工省水道公社等



パイロット地域にて、配水管理を支援

事業体（団体）名	<b>横浜市水道局</b>
----------	---------------

事業名称	JICA課題別研修「アフリカ地域都市上水道技術者養成」
実施期間	2018年8月27日～9月21日
主催機関	JICA、横浜ウォーター（株）、横浜市水道局
事業概要・目的	<p>横浜市水道局では、平成20年5月に横浜で開催された第4回アフリカ開発会議（TICAD IV）を契機として、独立行政法人国際協力機構（JICA）と協力して、課題別研修「アフリカ地域都市上水道技術者養成」コースの受入を開始しました。約1か月のコースで、平成30年度までに12回実施し、29か国から125人を受け入れています。</p> <p>アフリカでは、現在も多くの国で水道事業に関する課題を抱えており、アフリカ開発会議でも毎回テーマとして取り上げられています。参加国の多くは、お客さまに配っている水のうち30～50%が漏水や盗水などで収入に結びつかないなどの課題に直面しています。</p> <p>水道局では、浄水処理や水質管理、水圧・水量・水質などの配水管理、水道計画、施設管理などの技術面に加え、料金管理や顧客管理、顧客サービス、経営計画など、水道事業全般の講義を行っています。参加者は、講義や実習で学んだことを踏まえて研修の中で自らの課題解決のための活動計画を策定し、自国に持ち帰って自らの取組みに繋げます。</p> <p><b>【平成30年度の具体的な研修の内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水源、浄水場などの水道施設の視察及び水源管理、浄水処理、水質管理の講義</li> <li>・ 水安全計画やアセットマネジメントなどの取り組みの講義</li> <li>・ 無収水対策の講義及び管路研修施設を活用した漏水探查実習</li> <li>・ 横浜市水道記念館や技術資料館での日本及び横浜の水道の歴史の学習</li> <li>・ 図面管理、配水管理、水道メーター管理の講義</li> <li>・ 水道工事の工事現場視察及び施工管理の講義</li> <li>・ 出前水道教室への参加や小学生との交流</li> <li>・ 経営計画、検針・料金徴収、顧客サービスに関する講義や意見交換 ほか</li> </ul>
対象（相手）国・機関名	30年度の研修員 7名：エチオピア（1）、エリトリア（1）、ケニア（1）、ナイジェリア（1）、マラウイ（2）、ルワンダ（1）



メーター検査室でのメーター検査の実習



小学校での出前水道教室の視察

事業体（団体）名	<b>横浜市水道局</b>
----------	---------------

事業名称	マラウイ共和国ブランタイヤ水公社支援のためのボランティア連携
実施期間	2018年9月30日～11月10日（6週間）
主催機関	JICA、横浜市水道局
事業概要・目的	<p>横浜市水道局では、JICAボランティア制度を活用し、平成26年度から毎年マラウイ国のブランタイヤ水公社に職員を派遣しています。</p> <p>これまで、平成26年度から28年度までの3年間でブランタイヤ水公社に9名の職員を派遣し、漏水管理や料金徴収の改善等に関する協力を行ってきました。その後、ブランタイヤ水公社から派遣の継続に対する強い要望を受け、平成29年4月に新たな3年間の事業についてJICAとの覚書を締結し、平成29年度、30年度にさらに各4名、計8名の職員を派遣しています。</p> <p><b>【平成30年度までの派遣活動の概要】</b></p> <p>ブランタイヤ市内のChiwembe地区をモデル地区に無収水（漏水や盗水などで収入にならない水）の測定や削減の手法を指導し、無収水率を69.3%から35.8%まで削減しました。また、同地区での顧客満足度調査やワークショップを実施し、ブランタイヤ水公社の給水サービスに関わる課題を抽出し、改善を支援しました。さらに施工監理マニュアルや料金管理マニュアルなどの整備、出前水道教室の実施手法の指導、エネルギーマップの作成、水理解析の指導などを進めました。</p>
対象（相手）国・機関名	マラウイ国ブランタイヤ水公社



出前水道教室の拡充・指導



施工管理マニュアルの作成・指導

事業体（団体）名	川崎市上下水道局
----------	----------

事業名称	ラオス・水道事業運営管理能力向上プロジェクト（MaWaSU2）
実施期間	2018年5月21日～（長期専門家派遣） 2019年1月14日～2019年3月16日（短期専門家派遣）
主催機関	JICA
事業概要・目的	<p>ラオスの国家目標達成に向け『水道セクターの管理体制と水道公社の能力を強化するために必要な基盤が整備される』ことを目的とし、ラオス全国において、水道行政の改善、施設整備事業における計画・実施能力及びそれに対するモニタリング・評価能力の向上、技術基準の整備、水道事業の計画実施能力向上等を図る、2023年までの5年間のプロジェクトで、川崎市は長期及び短期専門家を派遣する。</p> <p>また、プロジェクトに参画する本市を含めた4地方自治体（さいたま市、埼玉県、横浜市）とJICAのより一層の連携を図るため協定を締結した。</p>
対象（相手）国・機関名	公共事業運輸省水道局、ピエンチャン都、ルアンパバーン県、カムアン県のパイロット水道公社及び公共事業運輸局、並びにその他の県の水道公社及び公共事業運輸局



事業体（団体）名	千葉県企業局
事業名称	JICA 専門家派遣（東ティモール民主共和国給水改善アドバイザー）
実施期間	<p>&lt;平成24年度～平成29年度&gt;</p> <p>2012年4月30日～2015年4月29日（長期派遣）</p> <p>2014年5月19日～2014年6月15日（短期派遣）</p> <p>2015年10月26日～2015年11月4日（短期派遣）</p> <p>2015年7月27日～2017年7月26日（長期派遣）</p> <p>2016年1月8日～2016年2月7日（短期派遣）</p> <p>2017年1月13日～2017年3月5日（短期派遣）</p> <p>2017年11月11日～11月19日（短期派遣）</p> <p>2018年2月2日～2月25日（短期派遣）</p> <p>&lt;平成30年度&gt;</p> <p>2017年8月21日～（長期派遣）</p> <p>2019年1月25日～2月17日（短期派遣）</p>
主催機関	JICA
事業概要・目的	<p>東ティモール民主共和国政府は、全ての国民が安全な水にアクセスできるようになり、12県都市部で24時間給水を達成することを、2030年までの長期目標として掲げている。なお、2012年の安全な水へのアクセス率は、全国平均でも70%（都市で95%、村落で61%）となっている。</p> <p>日本国政府は、これまでも各種支援を行ってきたが、今後も目標達成に向け継続した支援が必要であるとしている。</p> <p>【長期派遣】</p> <p>当局では、独立行政法人国際協力機構(JICA)からの要請により、東ティモール民主共和国に対し、平成24年4月から職員を3年間派遣し、1日に数時間程度しか給水できなかった水道を、現地職員を指導しながら改善に取り組み、一部の区域について安定した24時間給水を実現させた。</p> <p>また、平成27年7月から平成29年7月まで後任として2人目の職員を派遣し、平成29年8月より3人目の職員が24時間給水区域の拡大に向けて支援を続けている。</p> <p>（派遣内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浄水場の運転管理体制と水質管理体制の向上</li> <li>・24時間給水区域拡大のための配水システムの更なる改善</li> <li>・水道事業を独立採算で運営するための組織づくり</li> </ul> <p>【短期派遣】</p> <p>JICAから要請を受け、1週間から1か月間程度の期間で、平成29年度までに延べ21名の職員を派遣した。</p> <p>（派遣内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公営企業としての水道事業経営、組織編成の考え方等の指導</li> <li>・効率的な給水方法、使用水量の把握方法等の指導</li> <li>・水質検査方法や薬品注入量の指導</li> <li>・浄水場施設の運転やメンテナンス方法の指導</li> <li>・漏水探知機や金属探知機の操作方法の指導</li> </ul>

事業者（団体）名

千葉県企業局

対象（相手）国・機関名

東ティモール民主共和国

写真



JICAと当局の支援により給水が改善された水道



短期派遣職員と研修生

事業体（団体）名	さいたま市水道局
事業名称	ラオス国 水道事業運営管理能力向上プロジェクト(MaWaSU2)
実施期間	2018年5月～2023年5月
主催機関	JICA
事業概要・目的	<p>ラオス国の水道普及率向上に向けて、水道セクター管理体制と水道公社の水道事業実施能力強化のための基盤整備や3つのパイロット水道公社(首都ビエンチャン、ルアンパバーン県、カムアン県)を中心とした全国展開活動を行う。専門家派遣については、川崎市、横浜市、埼玉県と共に実施している。</p> <p>【水道普及率(都市部)】 2015年度(実績):64% 2020年度(目標):80%</p> <p>【2018年度 専門家派遣】 2018年5月21日～(長期専門家 1名) 2018年10月14日～12月14日(短期専門家 1名)</p>
対象（相手）国・機関名	ラオス国:公共事業運輸省水道局、パイロット(首都ビエンチャン、ルアンパバーン県、カムアン県)の水道公社及び公共事業運輸局、その他県の水道公社及び公共事業運輸局
<p>写真</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	

事業体（団体）名	さいたま市水道局
----------	----------

事業名称	ラオス国 水道公社における上水道管路維持管理能力向上支援事業
実施期間	2018年6月～2021年6月
主催機関	JICA
事業概要・目的	<p>ラオス国の漏水削減に向けて、3つのパイロット水道公社(首都ビエンチャン、ルアンパバーン県、カムアン県)において、職員派遣や本邦研修を通じ、配給水管施工管理体制の改善、配給水管施工基準の確立、配給水管材料の適切な選定・管理を目指す技術支援を行う。</p> <p>【2018年度 職員派遣、研修員受入】  職員派遣：4回(9週間)、12名  研修員受入：1回(2.5週間)、3名</p>
対象（相手）国・機関名	ラオス国:公共事業運輸省水道局、首都ビエンチャン水道公社、ルアンパバーン県水道公社、カムアン県水道公社

写真



事業体（団体）名	埼玉県企業局
----------	--------

事業名称	ラオス 水道公社における浄水場運転・維持管理能力向上支援事業（JICA草の根技術協力事業）
実施期間	2016年1月～2019年1月
主催機関	埼玉県企業局
事業概要・目的	<p>埼玉県企業局は、ラオスの水道公社が所管する浄水場に対し、技術者派遣、研修員受入を通じ、浄水場の運転管理・維持管理及び水質管理能力向上の技術支援を実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 支援目的 ラオスにおける水道公社職員の技術力向上により、浄水場の健全な運転、良質な水の供給を目指す。</li> <li>○ 支援対象 ビエンチャン特別市、ルアンパバン県、カムアン県の浄水場</li> <li>○ 活動内容 薬品注入ポンプのメンテナンス、薬品注入量の計算・注入制御、ろ過池洗浄等の指導</li> </ul> <p>&lt;2018年度実績&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 技術者派遣 <ul style="list-style-type: none"> <li>第1回派遣（2018年7月7日～7月21日：ルアンパバン）：4名</li> <li>第2回派遣（2018年9月9日～9月28日：カムアン）：4名</li> <li>第3回派遣（2018年11月4日～11月23日：ビエンチャン）：3名</li> <li>事業方針協議・履行確認（2018年6月12日～6月15日：ビエンチャン）：3名</li> <li>クロージングセミナー（2018年11月18日～11月23日：ビエンチャン）：2名</li> </ul> </li> <li>2 研修員受入れ <ul style="list-style-type: none"> <li>講義・現場体験（2018年10月15日～10月26日）：4名</li> </ul> </li> </ol>
対象（相手）国・機関名	ラオス・公共事業運輸省水道局

写真



カムアン県での水質管理指導の様子



クロージングセミナーの様子

事業体（団体）名	<b>埼玉県企業局</b>
----------	---------------

事業名称	水道事業運営管理能力向上プロジェクト
実施期間	2019年1月21日～2月20日（専門家派遣）
主催機関	JICA
事業概要・目的	<p>&lt;事業の概要&gt;          JICAホームページ  <a href="https://www.jica.go.jp/project/laos/023/index.html">https://www.jica.go.jp/project/laos/023/index.html</a></p> <p>&lt;協力内容&gt;          2018年5月に締結した当該プロジェクトの連携協力に関する協定に基づき、土木、水質分野の専門家派遣及び研修員受入れに協力している。</p> <p>&lt;2018年度実績&gt;          ○ 専門家派遣（2019年1月21日～2月20日）：1名（水質分野）</p>
対象（相手）国・機関名	ラオス・公共事業運輸省 水道局、ビエンチャン都・ルアンパバーン県・カムアン県の各水道公社及び公共事業運輸局、その他県の水道公社及び事業運輸局

写真



水質検査室でのヒアリング



ワークショップ

事業体（団体）名	<b>名古屋市上下水道局</b>
----------	------------------

事業名称	JICA課題別研修 上水道無収水量管理対策(漏水防止対策)(A)
実施期間	2018年9月17日～10月24日（名古屋市の受入：6日間）
主催機関	JICA
事業概要・目的	<p>開発途上国の水道技術者の無収水量管理対策の能力を強化するため、総合的な無収水管管理の研修を実施。</p> <p>名古屋市での主な研修プログラムは以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 漏水管理</li> <li>・ 配水管更新計画</li> <li>・ 配水管の設計</li> <li>・ 配水管接合                    など</li> </ul>
対象（相手）国・機関名	アフガニスタン、マラウイ（2名）、マーシャル諸島、フィリピン、ジンバブエ

写真



事業体（団体）名	<b>名古屋市上下水道局</b>
----------	------------------

事業名称	JICA課題別研修 上水道無収水量管理対策(漏水防止対策)(B)
実施期間	2018年11月1日～12月8日
主催機関	JICA
事業概要・目的	<p>開発途上国の水道技術者の無収水量管理対策の能力を強化するため、総合的な無収水量管理の研修を実施。</p> <p>主な研修プログラムは以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漏水管理</li> <li>・配水計画概論</li> <li>・配水管更新計画</li> <li>・配水管の設計</li> <li>・配水管接合</li> <li>・メータ検針</li> <li>・広報の取り組み</li> <li>・視察（取水口、浄水場など） など</li> </ul>
対象（相手）国・機関名	カンボジア、エチオピア、ギニア、ラオス、ナイジェリア、ルワンダ、スリランカ（2名）

写真



事業体（団体）名	<b>名古屋市上下水道局</b>
----------	------------------

事業名称	JICA技術協カプロジェクト 国家上下水道公社西部州南部地域事業運営能力向上プロジェクト
実施期間	2018年9月1日～2021年8月31日
主催機関	JICA
事業概要・目的	<p>名古屋市上下水道局は、平成30年度よりスリランカ国家上下水道公社（NWSDB）の管路マネジメント能力の強化を目的としたJICAの技術協カプロジェクトに協カし、専門家の派遣や日本での研修を実施し技術協カを行う。</p> <p>平成30年度の名古屋市での協カ内容は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長期専門家派遣 1名（2018年9月1日～派遣中）</li> <li>・短期専門家派遣 1名（2018年10月7日～11月25日）</li> </ul>
対象（相手）国・機関名	スリランカ国 国家上下水道公社

写真



事業体（団体）名	<b>豊橋市上下水道局</b>
----------	-----------------

事業名称	JICA課題別研修 上水道無収水量管理対策（漏水防止対策）（A）
実施期間	2018年9月18日～10月23日（豊橋市の受入れ：7日間）
主催機関	JICA中部
事業概要・目的	<p>開発途上国における水道技術者の無収水量管理対策の知識・技能を強化するため、研修員の自国/地域の実情に合った無収水量管理に関する総合的な研修を実施。</p> <p>豊橋市での主な研修プログラムは以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 配水圧力コントロールシステム研修</li> <li>・ 配水量分析の講義・実習</li> <li>・ 漏水修繕実習</li> <li>・ 水道施設情報管理システム研修 など</li> </ul>
対象（相手）国・機関名	アフガニスタン、マラウイ（2名）、マーシャル諸島、フィリピン、ジンバブエ

写真



事業体（団体）名	<b>浜松市上下水道部</b>
----------	-----------------

事業名称	JICA草の根技術協力事業 「バンドン市における漏水防止対策技術支援」
実施期間	2017年3月～2019年7月
主催機関	浜松市上下水道部
事業概要・目的	<p>2014年12月に浜松市とバンドン市との間で、文化・環境分野等の協力関係の構築に関する覚書（LOI）を締結したことを契機として、バンドン市における無収水率削減のための技術支援として、漏水防止対策の技術指導を行っている。</p> <p>1 活動実績（2018年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1回職員派遣 2018年7月15日～28日（当市職員延べ5名派遣）</li> <li>・ 第2回職員派遣 2018年9月1日～15日（当市職員延べ6名派遣）</li> <li>・ 第1回本邦研修 2018年11月5日～15日（バンドン市水道公社職員7名受入）</li> </ul> <p>2 活動内容</p> <p>漏水防止対策のための特別チームメンバーを6名選出し、現地パイロット地区や本邦研修における実習を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①漏水調査技術研修</li> <li>②漏水修繕技術研修</li> <li>③漏水防止計画の立案</li> <li>④給水工事施工マニュアルの作成</li> </ul>
対象（相手）国・機関名	インドネシア共和国・バンドン市（バンドン市水道公社）

写真



事業体（団体）名	<b>大阪市水道局</b>
----------	---------------

事業名称	ホーチミン市水道総公社等との技術交流
実施期間	2019年3月12日～20日
主催機関	大阪市水道局
事業概要・目的	<p>ベトナム・ホーチミン市水道総公社（Saigon Water Corporation：SAWACO）と大阪市水道局の友好関係の促進や課題解決に向けた相互支援を目的として、2009年12月に締結、2015年11月及び2018年12月に更新した「技術交流に関する覚書」に基づき、2010年度より、毎年SAWACO職員を大阪市へ受け入れています。</p> <p>今年度は、2019年3月12日から20日の期間に、SAWACOから3名及びSAWACOを通じて技術交流に参画したいとの要請があったバリア・ブンタウ省の水道事業者であるバリア・ブンタウ省水道株式会社（Ba Ria - Vung Tau Water Supply Joint Stock Company：BWACO）から2名の職員を受け入れ、水道の専門分野の意見交換、情報共有や視察等の技術交流を行いました。</p> <p>今回の技術交流では、ICTを活用した取組み、送配水ネットワーク管理、水質管理などについて紹介するとともに、ホーチミン市水道、バリア・ブンタウ省水道の抱える課題について議論を行い、今後の課題解決に向けた提案やアドバイスをを行いました。</p>
対象（相手）国・機関名	ベトナム：ホーチミン市水道総公社（SAWACO） ベトナム：バリア・ブンタウ省水道株式会社（BWACO）

写真



事業体（団体）名	<b>大阪広域水道企業団</b>
----------	------------------

事業名称	タイ王国首都圏水道公社（MWA）の職員の技術交流研修
実施期間	2018年10月29日～11月9日
主催機関	大阪広域水道企業団
事業概要・目的	<p>当企業団では、前身である旧大阪府水道部の時代から、独立行政法人国際協力機構（JICA）を通じ、タイ王国水道技術訓練センターでの研修に参画するなど、MWAに対する技術協力を行ってきた。</p> <p>2012年11月には、企業団とMWA、双方の水道事業の一層の発展を目的とし「両者の技術交流プログラムに関する覚書」（MOU）を締結した。</p> <p>2017年度の技術交流研修のフォローアップとして、2018年6月に当企業団職員4名をMWAに派遣し、現場における課題や次回研修への要望を確認した。このフォローアップ結果を反映し、同年10月29日～11月9日にMWA職員4名を研修生として迎え入れ、「浄水処理と送水管理」をテーマに技術交流研修を実施した。</p>
対象（相手）国・機関名	タイ王国首都圏水道公社（MWA）

写真



事業体（団体）名	京都市上下水道局
事業名称	JICA課題別研修「都市上水道維持管理（浄水・水質A）」
実施期間	2018年6月26日～8月2日
主催機関	京都市（大阪市との共同実施）
事業概要・目的	<p>JICA課題別研修「都市上水道維持管理（浄水・水質）」を大阪市水道局と共同実施し、海外から来日した研修員5名に対して、研修の受入れを行いました。</p> <p>京都市上下水道局は、主に、下記の講義・施設見学を実施しました。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 蹴上浄水場の施設見学 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 浄水施設の概要等について講義</li> </ul> </li> <li>2 水質連続監視機器の保守点検と校正訓練</li> <li>3 その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ニーズの聴き取り、アクションプラン作成指導等</li> </ul> </li> </ol>
対象（相手）国・機関名	インド、アフガニスタン、ネパール、ウガンダ、ナイジェリア（5名）

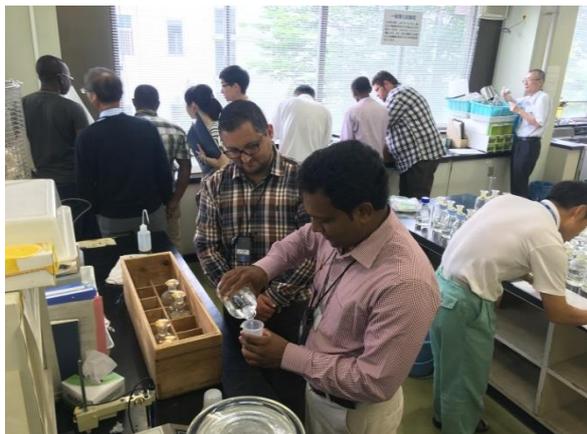
写真



事業体（団体）名	神戸市水道局
----------	--------

事業名称	JICA課題別研修「都市上水維持管理（浄水・水質（B）」
実施期間	2018年6月26日～8月2日
主催機関	JICA関西
事業概要・目的	<p>本研修は、「浄水・水質」分野の業務の担う技術者の養成を目的とした集団研修である。2018年度は6カ国6名の研修員を招き、対象分野に関する講義・実習・見学などを実施した。</p> <p>研修員一人ずつ「アクションプラン」を作成し、その問題に対して、解決策を水道局職員と一緒に考えた。</p> <p>主な研修として、以下の内容を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アクションプラン作成・発表</li> <li>・浄水処理方法</li> <li>・水質管理の方法</li> <li>・水安全計画</li> <li>・上水道施設の見学（貯水池、浄水場、ポンプ場など）</li> </ul>
対象（相手）国・機関名	スリランカ、ルワンダ、パキスタン、チュニジア、エリトリア、ベナン

写真



事業体（団体）名	<b>神戸市水道局</b>
事業名称	スリランカ国 国家上下水道公社西部州南部地域事業運営能力向上プロジェクト
実施期間	2018年9月～2021年8月
主催機関	JICA
事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目的</li> </ul> 水道の管路に関するアセットマネジメント(管路の計画的更新)の導入、管路の施工・維持管理技術の強化を通じて、国家上下水道公社（NWSDB）による水道運営の効率化を支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2018年8月にJICA・名古屋市と協定を締結、連携し取り組んでいる</li> <li>・ 神戸市の2018年度の協力内容</li> </ul> 管路に焦点を当てたアセットマネジメントの導入 技術協力プロジェクトの専門家として、現地派遣（短期派遣） <ul style="list-style-type: none"> <li>2018年10月7日～10月20日 短期専門家2名派遣</li> <li>2019年1月13日～1月26日 短期専門家2名派遣</li> </ul> <a href="http://www.city.kobe.lg.jp/life/town/waterworks/mizbiz/water_SriLanka.html">http://www.city.kobe.lg.jp/life/town/waterworks/mizbiz/water_SriLanka.html</a>
対象（相手）国・機関名	スリランカ・国家上下水道公社（NWSDB : National Water Supply and Drainage Board）
写真	 <p>The top photograph shows a meeting in progress. A man in a dark suit is standing and presenting to a group of people seated around a long table. A projector screen in the background displays a slide titled '5. Work Plan' with the dates 'First Term: September 2018 - August 2019'. The bottom photograph is a group photo of approximately 15 people, including men and women in professional attire, standing and kneeling in front of a whiteboard with charts and documents.</p>

事業体（団体）名	神戸市水道局
----------	--------

事業名称	スリランカ上水道向け広域監視制御システム普及促進事業
実施期間	2019年3月～2020年6月
主催機関	JICA
事業概要・目的	<p>・平成22年11月に策定した「水・インフラ整備に関する国際貢献の新たな取り組み」の基本方針に基づく、相互協力協定を締結した地元企業等の水・インフラ事業の海外展開等に関する支援の一環として、神戸市水道局は、監視制御システムのユーザー視点に立った効率的・効果的な水道施設の運用ノウハウをNWSDBへ提供する  <a href="http://www.city.kobe.lg.jp/life/town/waterworks/mizbiz/kokusai.html">http://www.city.kobe.lg.jp/life/town/waterworks/mizbiz/kokusai.html</a></p> <p>・事業の目的          広域水道管網の監視システムの技術を強化することにより、水道ネットワークの運営管理のための広域監視システムの必要性和有効性を国家上下水道公社（NWSDB）の職員が理解するのを支援する</p> <p>・2018年度の活動内容          現地職員派遣（2019年3月25日～30日）：第1回キックオフミーティング及びワークショップ</p>
対象（相手）国・機関名	スリランカ・国家上下水道公社（NWSDB：National Water Supply and Drainage Board）

写真



事業体（団体）名	広島市水道局
事業名称	JICA課題別研修「都市上水道維持管理」（給・配水）（B）コース
実施期間	2018年7月2日から8月3日
主催機関	JICA
事業概要・目的	<p>開発途上国の上水道の実務に携わる技術者を研修員として受け入れ、本市の給配水分野における実践的知識と技術を習得してもらうことにより、研修員が所属する水道事業体の発展に寄与することを目的とする研修。</p> <p>JICA中国からの要請を受け、平成25年度から58名の研修員を受け入れている。</p> <p>主な研修プログラムは以下のとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水理計算</li> <li>・ 浄水場の運転管理と維持管理</li> <li>・ 水質管理</li> <li>・ 漏水防止研修</li> <li>・ 給配水管の破裂修理</li> </ul>
対象（相手）国・機関名	アフガニスタン、ボスニア・ヘルツェゴビナ、コートジボワール、エリトリア、ギニア、インドネシア、リベリア、マラウィ、モザンビーク、スリランカ（計10名）
写真	
	

事業体（団体）名	下関市上下水道局
事業名称	平成30年度 青島水務集団有限公司との職員相互派遣研修
実施期間	2018年10月10日～10月24日
主催機関	下関市上下水道局・青島水務集団有限公司
事業概要・目的	<p>下関市と青島市は、1979年の友好都市提携以来、様々な分野で友好交流を促進し、多大な成果をあげている。</p> <p>これらの一環として、下関市上下水道局と青島水務集団有限公司との間で2000年から相互に職員を派遣している。この職員の相互派遣研修は友好関係を深め、両市の上下水道技術の向上を目的としている。</p>
対象（相手）国・機関名	中国・青島水務集団有限公司

事業体（団体）名	<b>福岡市水道局</b>
----------	---------------

事業名称	JICA草の根技術協力事業 ナンディ・ラウトカ地区における給水サービス強化事業
実施期間	2018年1月～2021年1月
主催機関	JICA
事業概要・目的	<p>■概要・目的</p> <p>2017年7月に完了した草の根技術協力事業の成果を踏まえ、ナンディ・ラウトカ地区における更なる給水サービスの強化を図るため、新たな事業として、水道利用者の節水意識の向上に向けた活動強化やフィジー上下水道公社職員の「水の有効利用（配水調整、漏水防止等）」に関する能力の強化に取り組むことで、対象地区で24時間常に水が供給されるよう支援するもの。</p> <p>■活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本市職員派遣（3回程度/年）</li> <li>・カウンターパート職員受入（1回/年）</li> <li>・水道用資機材供与</li> </ul> <p>平成30年度は出水不良エリア改善に向けて、現地職員とともにナンディ地区における現地調査（送・配水管の流量、配水池の水位測定等）を実施するとともに、水道利用者の節水意識向上を図るため、水使用の実態調査を行い、節水に関する広報活動を実施した。</p>
対象（相手）国・機関名	フィジー共和国・フィジー上下水道公社

写真



事業体（団体）名	<b>福岡市水道局</b>
----------	---------------

事業名称	JICA個別専門家 ヤンゴン市 水道行政・水供給アドバイザー
実施期間	2018年12月～2020年12月
主催機関	JICA
事業概要・目的	<p>■概要・目的</p> <p>ヤンゴン市は、約560万人を抱えるミャンマー最大の都市であるが、今後の経済発展及び人口増加に伴い、増加する水需要のための上水道整備が喫緊の課題となっている。</p> <p>このため、政策提言、助言を行う専門家の派遣による支援要請がミャンマー政府から我が国になされ、これを受けたJICAからの依頼に基づき本市職員をヤンゴン市に派遣、水道行政に関する助言及び送配水管網の整備・更新に取り組むもの。</p> <p>■活動内容</p> <p>1. 送配水管網の整備・更新</p> <p>1) 送配水管網の現状分析や課題整理。</p> <p>2) 送配水管網の整備・更新計画の策定や設計・施工・施工管理に関する助言・提言。</p> <p>3) 送配水管網の適正な維持管理が実施されるよう助言・提言。</p> <p>4) 水ビジョンの実現及び水道分野にかかる開発方針・計画の実施。</p> <p>2. 水道行政</p> <p>1) ヤンゴン市の水道事業に関わる国・州・市レベルの政策・計画の現状分析及び課題把握</p> <p>2) 国・州・市レベルの政策・計画・体制の改善に向けた提案</p> <p>3) 関係省庁・行政組織に対する助言・支援</p> <p>4) 将来の日本の協力案件の発掘・実施促進のための支援</p> <p>5) 水道事業にかかる中央省庁や他都市への知見共有及び助言・提言</p>
対象（相手）国・機関名	ミャンマー連邦共和国・ヤンゴン市開発委員会

写真



事業体（団体）名	<b>福岡市水道局</b>
----------	---------------

事業名称	JICA課題別研修 上水道無収水量管理対策（漏水防止対策）
実施期間	2018年7月25日～8月22日
主催機関	JICA
事業概要・目的	<p>■概要・目的 開発途上国においては上水道に関する技術者の不足から漏水量の割合が高い状況にあるため、JICA課題別研修員として受け入れ、本市が持つノウハウ、技術を習得することで、各国の給水環境の改善に資するとともに、活動を通じた水道局職員の人材育成、水道技術力の維持向上を図るもの。</p> <p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講義：福岡市の水道事業，漏水防止，配水管整備・維持管理，メータ管理など</li> <li>・視察：ダム，取水場，浄水場，配水施設，配水管布設現場 など</li> <li>・アクションプラン作成支援</li> </ul>
対象（相手）国・機関名	ミャンマー(1名), フィジー(1名), ネパール(1名), タンザニア(1名)

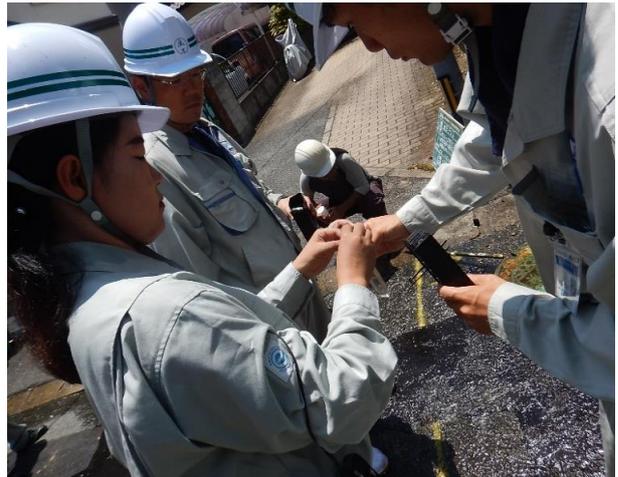
写真



事業体（団体）名	<b>福岡市水道局</b>
----------	---------------

事業名称	一般財団法人自治体国際化協会 自治体職員協力交流事業
実施期間	2018年6月～11月
主催機関	一般財団法人自治体国際化協会（CLAIR）
事業概要・目的	<p>■概要・目的</p> <p>CLAIRの「自治体職員協力交流事業」を活用し、ヤンゴン市職員を本市に「協力交流研修員」として受け入れ、本市が持つノウハウ、技術を習得させるとともに、ヤンゴン市職員の人材育成を通じたヤンゴン市水道の運営・維持管理の改善および本市とヤンゴン市とのさらなる信頼関係の構築を図るもの。</p> <p>■活動内容</p> <p>研修において、以下のプログラムを実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講義：福岡市の水道事業全般、下水道事業全般 など</li> <li>・視察：ダム、取水場、浄水場、配水施設、配水管布設現場 など</li> <li>・実習：浄水場やポンプ施設の運転・維持管理実習、水質管理実習、本市水道局研修施設における給水管接合演習 など</li> <li>・アクションプラン作成支援</li> </ul> <p>2018年度は、ヤンゴン市の水道技術者2名を受け入れ、研修を実施した。</p>
対象（相手）国・機関名	ミャンマー連邦共和国・ヤンゴン市開発委員会

写真



事業体（団体）名	<b>福岡市水道局</b>
----------	---------------

事業名称	JICA技術協カプロジェクト（ヤンゴン市開発委員会水道事業運営改善プロジェクト）
実施期間	2015年～2020年
主催機関	JICA、(株)TECI、東京水道サービス(株)、(株)PUC、福岡市水道局、東京都水道局
事業概要・目的	<p>■概要・目的</p> <p>ヤンゴン市では、円借款を活用した水道施設整備が進められているが、持続的な給水サービスを確保するためには、施設整備と並行して、ヤンゴン市開発委員会の組織能力強化も必要であるため、JICAが技術協カプロジェクトを実施している。福岡市水道局は、東京都水道局とともに、国内支援委員として本プロジェクトに参画し、水道事業体として技術的な助言等を行うもの。</p> <p>■活動内容</p> <p>福岡市水道局は、東京都水道局と共同で、現地セミナーや訪日研修を実施。平成30年度は、国内でのTV会議に参加し、技術的な助言等を実施。</p>
対象（相手）国・機関名	ミャンマー連邦共和国・ヤンゴン市開発委員会

写真



事業体（団体）名	<b>沖縄県企業局</b>
事業名称	島嶼における水資源管理・水道事業運営
実施期間	2018/10/29～2018/11/30
主催機関	JICA
事業概要・目的	太平洋の島嶼地域に対する効果的な水道システムの技術移転を通じた国際交流・国際協力を目的として、県内市町村等水道事業関係機関及びJICA沖縄との連携のもと、水道事業に関する海外研修員受入事業を実施している。今年度で9回目になり受入研修員数は93名となっている。
対象（相手）国・機関名	サモア(1名)、バヌアツ(1名)、ソロモン(1名)、ミクロネシア連邦（1名）、パラオ（1名）

事業体（団体）名	<b>沖縄県企業局</b>
事業名称	サモア水道公社 維持管理能力強化プロジェクト
実施期間	2014年度～2019年度
主催機関	JICA
事業概要・目的	<p>サモアの首都アピアの給水区において、無収水対策、水質管理及び浄水場管理に係るSWAの能力強化を行うことによりプロジェクト対象地区における安全かつ安定的な給水を図り、もってアピア全体への安全かつ安定的な給水に寄与する事を目的に沖縄県下の水道事業体を中心に専門家の派遣などを行っている。</p>
対象（相手）国・機関名	サモア水道公社

事業体（団体）名	名護市環境水道部水道施設課
事業名称	島嶼における水資源管理・水道事業運営
実施期間	2018/11/12~11/13
主催機関	JICA沖縄
事業概要・目的	<p>大洋州・島嶼国の安全で安定的な水資源管理及び効率的かつ衛生的な水道事業運営の貢献を目的として、水道事業に関する海外研修員受入事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管路施工について</li> <li>・水源地、取水場等視察</li> </ul>
対象（相手）国・機関名	5名 ミクロネシア、パラオ、サモア、ソロモン諸島、バヌアツ

事業体（団体）名	<b>名護市環境水道部水道施設課</b>
事業名称	沖縄連携によるサモア水道公社 維持管理能力強化プロジェクト
実施期間	2018/6/11~7/13
主催機関	JICA沖縄
事業概要・目的	<p>現地において、管路施工・漏水修理作業がSOPに基づき行われているか確認を行い、確実な施工管理を目指すため、エンジニアやエンジニアリングオフィサー、チームリーダーに技術的な指導・助言を行う。また2017年度に供与された水中ポンプを使用した漏水修理の技術指導を行い、PE管接合とPEとPVC管の異種管接合を含めた給水分水栓に係る技術について、リーダー職員による技術職員の能力評価、内部研修の実施を支援する。</p>
対象（相手）国・機関名	サモア水道公社

事業体（団体）名	<b>公益社団法人 日本水道協会</b>
----------	----------------------

事業名称	JICA課題別研修「上水道施設技術総合：水道基本計画設計(A)」
実施期間	2018年5月17日～7月12日
主催機関	JICA東京
事業概要・目的	<p>水道建設計画の策定技能の習得を中心に、水道施設や水道事業の運営に指導的役割を果たす技術者を養成することを目的とした集団研修。</p> <p>開発途上国の中堅水道技術者を対象とし、約2か月間にわたり水道技術全般に関する講義、視察、演習を行う。今年度で<b>51回目</b>を迎える歴史の長い研修で、これまで<b>100を超える国と地域から629名</b>の研修員を受け入れている。</p> <p>また、「オブザーバー参加制度」を独自に実施しており、首都圏近郊の水道事業体に在職する若手職員を対象に、国際交流の場を提供している。本年度は、横浜市水道局、川崎市上下水道局、神奈川県企業庁から5名の参加があった。</p> <p>主な研修プログラムは以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取水・貯水・導送配水施設</li> <li>・漏水防止対策</li> <li>・水安全計画の策定</li> <li>・配水用ポリエチレン管工場視察</li> <li>・ジャーテスト</li> <li>・水道基本計画演習</li> <li>・浄水場施設の水力計算</li> <li>・健全な水道事業経営 他</li> </ul> <p>【参照】 <a href="http://www.jwwa.or.jp/jigyuu/kaigai_03.html#8">http://www.jwwa.or.jp/jigyuu/kaigai_03.html#8</a></p>
対象（相手）国・機関名	カンボジア、エリトリア、マラウイ、モロッコ、ミャンマー(2)、ルワンダ、南スーダン (研修員計8名)

写真

